

目標値に対する進捗状況・評価(案)一覽 ～宮城県第2期がん対策推進計画～

平成29年2月13日現在

【評価】
A: 順調
B: 概ね順調
C: やや遅れている
D: 遅れている
I: 評価不能

分野	目標	進捗状況	評価	国の目標値
全体	1 75歳未満の年齢調整死亡率の20%減少	20%減少	B	20%減少
	2 全てのがん患者とその家族の苦痛の軽減と療養生活の質の維持向上	-	I	
	3 がんになっても自分らしく暮らせる社会の構築	-	I	
	1 成人の喫煙率の減少	25.5% (H22)	C	12%
	2 未成年者の喫煙をなくす 「12～19歳男性」	2.0% (H22)	I	0%
	3 妊娠中の喫煙をなくす	4.8% (H22)	I	0%
	4 受動喫煙の機会を有する者の割合の低下	17.6% (H22)	C	3%
	5 受動喫煙の機会を有する者の割合の低下	41.7% (H22)	C	受動喫煙のない職場
	6 受動喫煙の機会を有する者の割合の低下	40.3% (H22)	D	10%
	7 喫煙の健康影響に関する知識の普及	88.1% (H22)	I	100%
	8 食塩摂取量の減少	男性 11.9g (H22) 女性 10.4g (H22)	I	男性 8g 女性 8g
	9 野菜摂取量の増加	307g (H22)	I	350g
	10 肥満者の割合の減少	30.6% (H22)	C	25%
11 肥満者の割合の減少	21.3% (H22)	C	18%	
12 生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合の低減	変更前 4.9% (H22) 変更後 15.9% (H22)	I	-	
13 生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合の低減	変更前 1.1% (H22) 変更後 8.5% (H22)	I	12%	
がん検診	がん検診の受診率の向上	55.6% (H22)	I	6%
	胃がん (40～69歳)	68.5% (H22)	B	58.5% (H26)
	肺がん (40～69歳)	52.0% (H22)	A	70.1% (H26)
	大腸がん (40～69歳)	53.2% (H22)	B	57.7% (H26)
	子宮がん (20～69歳)	56.4% (H22)	B	52.1% (H26)
	放射線療法 専従又は専任の専門医 (うち常勤医)	22 (16) 人 (H23)	C	18 (14) 人 (H27)
	常勤専従診療放射線技師	43 人 (H23)	I	23 人 (H27)
	医学物理士	6 人 不在 (3機関)	C	7 人 (H27) 不在 (2機関)
	化学療法 専従又は専任の専門医 (うち常勤医)	34 (21) 人 (H23)	C	32 (32) 人 (H27)
	常勤の専従又は専任の薬剤師	30 人 (H23)	B	62 人 (H27)
受動喫煙の専従又は専任の看護士	23 人 (H23)	B	43 人 (H27)	
口腔ケア 歯科医師	(非常勤は常勤換算し合算) 187.18 人 (H23)	C	170.17 人 (H27)	
歯科衛生士	(うち179.8人が東北大学病院) 20.23 人 (H23)	B	40.46 人 (H27)	
栄養管理 管理栄養士	(非常勤は常勤換算し合算) 38.73 人 (H23)	B	51.83 人 (H27)	
リハビリテーション 理学療法士	(非常勤は常勤換算し合算) 78.8 人 (H23)	B	104 人 (H27)	
作業療法士	35 人 (H23) 不在 (1機関)	B	49 人 (H27) 不在 (1機関)	
緩和ケア	緩和ケア	226回 (H23)	A	294回 (H27)
	緩和ケア研修会修了した医療従事者数の増加	217.2 人 (H24)	I	(H29調査予定)
	医師 (うち拠点病院の医師)	415 (225 人) (H24)	B	872 (506 人) (H27)
	医師以外の医療従事者	174 人 (H24)	A	544 人 (H27)
	医師、医師以外の医療従事者 従事者数の増加	31/37 人 (H23)	I	20/29 人 (H27)
	新規診療症例数、診療 回数数の増加	157例/640回 (H23)	I	110例/645回 (H27)
	医療用医薬消費量の増加	46.897g/千人 (H22)	I	46.766g/千人 (H26)
	麻薬調剤薬局数の増加	597ヶ所 (H24)	A	721ヶ所 (H28)
	がん性疼痛緩和指導管理科に関する施設基準 届出医療機関数の増加	46ヶ所 (H24)	I	64ヶ所 (H28)
	がん患者カウンセリング科に関する施設基準 届出医療機関数の増加	12ヶ所 (H24)	A	20ヶ所 (H28)
外来緩和ケア管理科に関する施設基準届出医 療機関数の増加	2ヶ所 (H24)	C	2ヶ所 (H28)	
地域の医療・介護サービス	在宅療養支援診療所/病院数の増加	129/6ヶ所 (H24)	B	145/17ヶ所 (H27)
	がん治療連携指導科に関する施設基準届出医 療機関数の増加	206ヶ所 (H24)	I	349ヶ所 (H28)
	在宅がん医療総合診療科に関する施設基準 届出医療機関数の増加	99ヶ所 (H24)	I	114ヶ所 (H28)
	訪問看護ステーション数の増加	108ヶ所 (H24)	B	131ヶ所 (H28)
	訪問薬剤管理指導薬局数の増加	575ヶ所 (H24)	B	672ヶ所 (H28)
	在宅看取り率の向上	12.82% (H22)	A	16.57% (H26)
	がん患者リハビリテーション科に関する施設基 準届出医療機関数の増加	8ヶ所 (H24)	A	29ヶ所 (H28)
	がんが行う緩和ケアの見直しを 踏まえ、がん診療に携わる全ての医療従 事者が基本的な緩和 ケアを理解し、知識と 技術を習得する。特 に拠点病院では、自 施設のがん診療に携 わる全ての医師が緩和 ケア研修を修了す る。	236.8 人	I	
	がん患者が住み慣れた 家庭や地域での療 養や生活を選択でき るよう、拠点病院の 機能充実も含め、在 宅医療・介護サービ ス提供体制を構築す る。		B	

がん医療の充実とがんが診断された時からの緩和ケアの推進

目標値に対する進捗状況・評価(案) 一覧

～宮城県第2期がん対策推進計画～

平成29年2月13日現在

【評価】
A:順調
B:概ね順調
C:やや遅れている

D:遅れている
I:評価不能

分野	目 的	標 準	ホームページ値	目標値	期限	進捗状況	評価		(参考) 国の目標値							
							評価	国の目標値								
情報提供と相談支援の充実	相談支援 20 拠点病院相談支援センター(7ヶ所)の年間相談件数の増加 拠点病院以外の相談窓口を含めた(14ヶ所)年間相談件数の増加		6,128件 (H23)	がん患者や家族の悩みや不安をくみ上げ、必要とする最新の情報や正しく提供し、きめ細やかな対応により、がん患者や家族にとってより活用しやすい相談支援体制を早期に実現する。	平成27年度	11,894件 (H27) 14,809件 (H27)	B B	B	/							
										20ヶ所の開催箇所数の増加	患者会等の活動を一層充実させる。	平成29年度	26ヶ所 (H28)	A	I	/
										サロンの年間延べ開催回数増加 ピアサポート研修年間延べ受講者数の増加 県ホームページによる情報提供団体数の増加			302回 (H22) 34人 (H24) 12団体 (H24)	(H29調査予定) 44人 (H27) 26団体 (H28)		
がん登録	23 効率的な予後調査体制の構築 地域がん登録への協力医療機関数の増加		-	効率的な予後調査体制の構築や院内がん登録を実施する医療機関数の増加を通じて、がん登録の精度を向上させる。	平成29年度	48(H27)	B	B	/							
										がん登録	18機関 (H28)	A	/			
小児がん	24 小児がん拠点病院の連携病院数の増加		0 (H24)	小児がん拠点病院とともに、小児がんの患者やその家族を支える取組を支援する。	平成29年度	18機関 (H28)	A	/								
がん教育	25 県主催がん予防セミナー開催回数、延べ参加者数の増加		10回/884人 (H23)	がんの普及啓発活動の推進、がん教育及び相談支援連携能力向上により、がん患者等へ支援する。	平成29年度	18回/1,300人 (H27)	B	B	/							
										26 拠点病院相談支援センターでの就労に関する相談支援・情報提供の実施 事業所への情報提供の実施	- 0 (H24)	7機関(H27) 4回/1,794件(H27)	B B	B		
社会的な問題				がんやがん患者・家族者に対する理解を推進し、仕事と治療の両立を支援する。	平成29年度				/							

※ ホームページには、第2期宮城県がん対策推進計画策定時における数値を用いている。
※ ※印は、平成28年県民健康・栄養調査において調査予定である。